

「日本のハブ化推進議連」議事要旨メモ

- 1■ 2008年12月11日、下記のテーマについて、
日本のハブ推進化に向け、議員連盟としての活動着手を確認。

- 2■ 参画メンバー／第一回会合 2008年12月11日 (民主党衆議院議員を中心として)
出席者
野田佳彦議員、長島昭久議員、古賀一成議員、松原仁議員、笠浩史議員、原口一博議員
唐津一(顧問) 鈴木浩二(プロデューサー)
事前に資料配布、一部説明
前原誠司議員、玄葉光一郎議員、松野頼久議員、枝野幸男議員

- 3■ 日本の喫緊の課題である、
『物流・生活コストの低減化、資源・資材の確保、地域の強化と、国益となる交易条件確保 へのハブ化強化』と、その基本法づくり(超党派議員立法により成立した宇宙基本法の運びを先行事例) に向けて

- 4■ 議連では、日本のハブ化推進により、100兆円の市場創出、300万人の雇用創出の試案を検討中。(鈴木、唐津より議連へ提唱。)

- 5■ 「100年に一度の経済危機にあって、日本はこれに相応しての思い切った計画と実施が必要。同テーマはこれに即する。(野田議員、第一回会合)」

- 6■ 「ハブ化により日本経済を革命的に活性化する方策(長島議員、第二回会合)」

- 7■ 石原信雄 元官房副長官 (ハブ議連への協力者として言及):
1月8日
「私(石原)が7代の総理の官房副長官として就いて、一度も成し得なかったことが、日本のハブ化推進だ。
次の政権で、全省庁を横断しての強い政治力とプロデュース力をもって実現して欲しい。」

- 8■ 活動の理念
『ハブ化を切り口とした消費喚起と内需拡大、雇用創出(ハブ・ビジネス と ハブ・サービスビジネス) を獲得するための法案化と、
その成果・効果を得るために惜しまないあらゆる活動を行う。』

- 9■ 日本のハブ化とは、
① 良好な交易条件づくりにより捉えることのできる、世界を走る様々な資源
(人、モノ、投資、サービス、知識資源、エネルギー資源) を呼び込み、
↑コンテナ・カーゴ・資材等 1000万 TEUs の新規中継コンテナ導入をめざす。
国内の成長へのパイ(成長へのあらゆる可能性)を増やすことを目標とする。

② 対日投資を得て、新しい産業づくりのために日本側と共同開発を行い、しっかりとした内需とさせる。必要な法案を設ける。
日本の対内投資比率(対 GDP 比)は 3%弱。欧米先進各国は、20~40%前後。

③ 国・地域がこれまでの 資本(公共投資含む)・資源・制度 のあり方を徹底的に見直し、新しい産業開発につなげることを目標とする。

10■ 目標 1. 「アジアにおけるハブ・ダイナミズムへの実質的な参画」

=『ハブ・ビジネス』としての緊急実施

- ① 物流コスト・生活コストの低減化による、生活の安定、産業成長の安定化
- ② 地域力、国力の増強

11■ 目標 2. 「日本の内需、雇用創出のための新産業化」

=『ハブ・サービスビジネス』としての緊急実施

優良な対日投資の集約と利用による、新しい産業づくりに向けた共同開発を促進する。

- ① ハブ関連施設、新エネルギー開発 等、後背地開発
(ハブ先進国では金融センターやカジノ複合施設を対象。)
- ② 国内の製造業・小売・サービス産業、中小企業等からの新産業化と雇用創出

12■ 民主党の議連で先行、超党派議連に向かわせ、

実施に向け必要となる、検討項目、内容、ボトルネック等をおさえ、法案化を含めての推進を図る。(第一回会合で確認)

13■ 第2回会合においては、「何が日本のハブ化を阻んでいるのか」をテーマに議論を行った。

スピーカー：鈴木浩二 及び 末吉興一 現総理補佐官 元北九州市長

末吉氏は、PSA との合併を行った経験より、「日本のハブ化を阻んでいるのは、内政の問題である」と明言。

14■ 第3回会合においては、渡辺喜美衆議院議員・元行革・規制改革・金融担当大臣 をゲストとして議論を行った。

テーマ：“ハブ化に必要な強い組織ポジション”について

骨抜きにされることのない強い政治力を持つべきとの認識を、参画者各位が共有。

15■ 5月に、「日本のハブ推進のための基本法(仮称)」草案を作製。(和文・英文)

第三回、四回会合、(会館での打合せ含)にて、参画者に配布、説明を行った。

野田佳彦議員、古賀一成議員、笠浩史議員、松沢成文知事、渡辺喜美議員、松原仁議員、原口一博議員、長島昭久議員、

事前に資料を送付、一部説明

前原誠司議員、玄葉光一郎議員、松野頼久議員、枝野幸男議員、樽床伸二議員

- 16■ 日本での具体的なハブ化推進に必要となる、先行するシンガポールの MAH Bow Tan 国家開発省大臣は、特に新政権が樹立されたなら、日本へのハブ化をサポートしていくための、同国政府・閣僚内のオーソライズを自ら行う、との表明を行った。(7月)

また、当「ハブ化推進基本法」の目標の一つである、新しい産業開発づくりに向けた日本側との共同開発に向けて、同国の政府ファンド、政府系企業より、投資が向かうよう、同政府がサポートすることの表明を行った。

- 17■ 世界最大の港湾オペレーターである、香港の Hutchison Port 社代表、及び シンガポールの PSA 代表は、日本での「ハブ化推進基本法」の進展に期待し、この基本法での目標数値である 1000 万 TEUs の新規中継コンテナの導入に対して、実行化し得る数値であることの表明を行った。

- 18■ 9月9日会合 ゲスト予定の石原信雄先生(元官房副長官)より、会合当日のテーマに向け、コメント。

「民主党が責任政党たり得るアピールを行うために、成長戦略として、“ハブ化推進”を打ち出すべき。同基本法を、最初の通常国会に出すべきだ。」
「省庁が複数にまたがるだろうから、私(石原)が円滑に進められるよう協力します。」

「ハブ化推進は、民主党の成長戦略として最もふさわしいテーマだ。
国家戦略局の最初のテーマにすれば良い。」

以上

「日本のハブ化推進議連」活動経過（お声を掛けた方々）

第一回会合 2008年12月11日

出席者

野田佳彦議員、長島昭久議員、古賀一成議員、松原仁議員、笠浩史議員、原口一博議員
唐津一（顧問） 鈴木浩二（プロデューサー）

事前に資料配布、一部説明

前原誠司議員、玄葉光一郎議員、松野頼久議員、枝野幸男議員、
松沢成文知事、樽床伸二前議員

第二回会合 2009年2月5日

出席者

ゲスト：末吉興一 現総理補佐官 元北九州市長

長島昭久議員、古賀一成議員、笠浩史議員、吉良州司議員、田村謙治議員、
鈴木浩二（プロデューサー）

事前に資料配布、一部説明

野田佳彦議員、前原誠司議員、原口一博議員、松原仁議員、玄葉光一郎議員、
松野頼久議員、枝野幸男議員、松沢成文知事

第三回会合 2009年5月26日

出席者

ゲスト：渡辺喜美議員 元行革・規制改革・金融担当大臣

野田佳彦議員、古賀一成議員、笠浩史議員、松沢成文 神奈川県知事
鈴木浩二（プロデューサー）

資料を送付、一部説明（ハブ化推進基本法・草案）

長島昭久議員、前原誠司議員、原口一博議員、松原仁議員、玄葉光一郎議員、
松野頼久議員、枝野幸男議員、樽床伸二前議員

第四回会合 2009年6月24日

出席者

野田佳彦議員、古賀一成議員、松原仁議員、鈴木浩二（プロデューサー）

資料を送付、一部説明（草案、及び補足説明）

笠浩史議員、長島昭久議員、前原誠司議員、原口一博議員、玄葉光一郎議員、
松野頼久議員、枝野幸男議員

第五回会合 2009年9月9日

出席者

ゲスト：石原信雄 元官房副長官

野田佳彦議員 古賀一成議員 松原 仁議員 笠 浩史議員
原口一博議員 樽床伸二議員 渡辺喜美議員 鈴木浩二（プロデューサー）

資料・議事録送付

前原誠司議員 長島昭久議員 玄葉光一郎議員 松野頼久議員
松沢成文知事 枝野幸男議員